

認定NPO法人21世紀構想研究会(1997年創設)組織図

学術アドバイザー

荒井寿光、安西祐一郎、大村智、沖村憲樹、黒川清、黒木登志夫、銭谷眞美、利根川進、藤嶋昭、吉川弘之

理事・幹事

馬場錬成理事長、永野博、筑紫みずえ副理事長、峯島朋子理事・事務局長
理事・監事 19人、会員約 100人で構成

本研究会

1997年9月26日の創設以来、時宜に応じたテーマの講演と討論を主体に研究会を開催しています。研究会はどなたでも参加できる場となっています。政府機関などへの政策提言と働きかけを続けています。
(本研究会は2021年1月末時点で161回開催)

企画委員会 永野博委員長 小出重幸副委員長 白川展之副委員長

2020年11月に承認を受けた認定NPO法人として、これからどのような活動で社会貢献できるかを考える委員会としている。デジタル社会が進展し、コロナ感染症の世界的な拡大によって組織も企業も行政も変革を余儀なくされている。私たちの活動もどうすべきかを模索している。

知的財産委員会 荒井寿光委員長 中村嘉秀副委員長

知的財産戦略の世界の動きを調べ、日本の知財政策の在り方を研究して適宜、政策提言を行う。
AI、DX時代を迎えて知的財産戦略がきわめて重要な時代を迎えている。中国を筆頭に知財活動が飛躍的に進展している世界の現状と動向を調査・分析している。

食育委員会 銭谷眞美委員長 香川明夫副委員長

学校給食は食育の根幹に位置付けられているため、全国学校給食甲子園を主催して学校給食の正しい理解と食育推進を目指している。食育シンポジウム、食育セミナー、食育ワークショップも随時開催している。応募献立の傾向を分析して日本食育学会でもその成果を発表している。

生命科学委員会 黒木登志夫委員長 福岡秀興副委員長

生命科学を主とした研究動向を調べ、講演・討論会を開催して適宜、政策提言を行う機会を作っている。
遺伝子編集技術のクリスパー・キャスナインの開発など、生命現象の研究が飛躍的に発展しているため、世界的な研究動向を調べ生命倫理も考える機会とする。

創設20周年宣言

私たちは権力も資金力もありません。会員の善意と情熱で成り立っている研究会です。時代認識をしっかりと持ち、社会の変革に立ち向かいます。